

生物多様性を活かした地域づくりの今

～身近な自然から地域の未来に向けて～



2012年9月に閣議決定された生物多様性国家戦略2012-2020では、愛知目標達成に向けて、生物多様性の主流化、そのツールとしての生物多様性地域戦略の展開が重要とされています。

本シンポジウムでは、生物多様性地域戦略の現状と各自治体の取り組み、市民参加の取り組み事例等を広く共有し、地域戦略を通じた生物多様性保全の有効性と、市民参加や多様な主体の連携の重要性を、政府・自治体・専門家・市民団体など多様な立場から検討していきたいと思ます。

日時：2013年 **3月10日(日)**
12:30～17:00 (開場12:00)

場所：神奈川近代文学館ホール (定員200名)
みなとみらい線元町・中華街駅下車徒歩10分
(神奈川県横浜市中区山手町110)

参加費：**無料** 資料集「生物多様性地域戦略ガイドブック」
会報「自然保護」2013年1/2月号、他を配布

申込方法：①件名「シンポジウム事前申し込み」②お名前 ③ご職業
または活動団体名 ④連絡先 をメール (waytob@nacsj.or.jp) か、
ファクス (03-3553-0139) でお送りください。



この事業は「国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J)」が
推奨する事業として認定を受けています。

プログラム

- 12:00 開場・受付
- 12:30 開会
主催 あいさつ 藤崎英輔 (神奈川県自然保護協会理事長)
共催 あいさつ 吉田正人 (IUCN-J会長・国連生物多様性の
10年日本委員会委員)
- 12:45 基調講演
「生態系サービスと生物多様性地域戦略」
中静 透 (東北大学教授・日本自然保護協会評議員)
- 報告
「ココからはじめる生物多様性地域戦略」
朱宮丈晴 (日本自然保護協会保全研究部長)
「生物多様性地域戦略の策定への期待」
亀澤玲治 (環境省自然環境局自然環境計画課長)
- 14:45 話題提供
「生物多様性保全に向けた取り組みについて」
山根正伸 (神奈川県環境農政局水・緑部自然環境保全課副課長)
「bでいこう～横浜市の取り組み～」
河合太一 (横浜市緑政局政策課担当係長)
「県内の生物多様性保全重要地域選定について」
村上雄秀 (神奈川県自然保護協会)
「人と自然のふれあい調査・自然と文化を次世代へ」
相馬美佐子 (てるはの森の会)
「市民との協働による生物多様性の保全」
村山勝利 (柏市役所環境部環境保全課)
- 16:05 パネルディスカッション
「生物多様性を活かした地域づくりに向けて」
進行：道家哲平 (日本自然保護協会保全研究部)
- 16:55 閉会あいさつ 亀山 章 (日本自然保護協会理事長)

主催：公益財団法人 **日本自然保護協会**、NPO法人 **神奈川県自然保護協会**

共催：国連生物多様性の10年日本委員会

後援 (申請中)：環境省、神奈川県、横浜市、生物多様性自治体ネットワーク

【連絡先】公益財団法人 日本自然保護協会 〒104-0033東京都中央区新川1-16-10ミトヨビル2F Tel：03-3553-4109



この事業は平成24年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて実施しています。